第1章

この1年で新たに24社が適用
新規任意適用企業の一覧と初度適用時の開示パターン

【この章のエッセンス】

- 2024年6月末時点でIFRS会計基準任意適用企業は272社で同適用決定会社は7社となっている。
- 東証市場別でみると、プライム市場についてIFRS適用会社数が1割超であり、IFRS会計基準任意適用企業の8割を占めている。
- 業種別についてはサービス業、情報・通信業、電気機器の順に適用企業数が多く、海運業、銀行業などいまだIFRS会計基準を任意適用している企業がない業種もある。

IFRS会計基準任意適用の拡大と本稿の分析対象

IFRS会計基準適用済会社およびIFRS会計基準適用決定会社の合計は、2023年6月末時点の268社から、2024年6月末時点で279社に増加した。内訳は適用決定会社が14社から7社に減少し、適用済会社が254社から272社に増加したことによる(**図表1**)。2024年6月末時点から過去数年を振り返ってみても、おおむね10~20社の範囲で増加傾向が続いている。

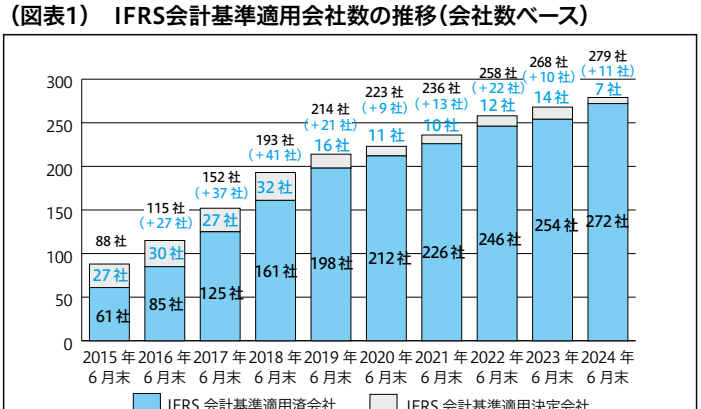
前回の分析以降、IFRS会計基準適用済会社は254社より18社増加しているが、この内訳はIFRS会計基準を新規に適用した会社が24社ある一方、会社統合等により上場廃止となった企業が6社あったことによる純増数である。IFRS会計基準を新規に適用した24社のうち2024年6月現在有価証券報告書で開示を行っていない4社を除き、また前回分析時において四半期報告書上でのみIFRS会計基準財務報告の開示を行ったIFRS会計基準新規適用企業1社が今般有価証券報告書上IFRS会計基準財務報告を行っており、これを足した計21社については**図表2**を参照されたい。

これにより、2024年6月末までに有価証券報告書または「上場申請のための有価証券報告書(Iの部)」においてIFRS会計基準を任意適用した企業は、272社中四半期開示のみを行っている4社を除いた268社に達した。

次章以降でIFRS会計基準が要求する開示が実際にはどのように行われているのか等を中心に開示分析・調査を行い、今後IFRS会計基準の任意適用を検討する企業およびIFRS会計基準財務諸表利用者の理解の参考となり得る情報を提供したい。

なお、本文中意見にあたる部分は私見であることをあらかじめ申し添える。

(図表1) IFRS会計基準適用会社数の推移(会社数ベース)



IFRS会計基準任意適用企業の市場別分類

IFRS会計基準任意適用企業の東証市場別分類(**図表3**)において、適用企業数はプライム市場が216社とIFRS会計基準任意適用企業の79%を占めている。